

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会について

協議会の概要

【設立】 2007年3月19日

【目的】

- バイオディーゼル燃料の安全利用に向けた規格の制定、安全かつ適正利用に必要なガイドラインの作成、税制優遇など制度面での利用促進策の検討や技術研究を行う。
- バイオディーゼル燃料化事業（主に国産原料からバイオディーゼル燃料を製造し、地域において販売又は利用する事業）の円滑な普及発展を図り、もって持続可能な循環型社会の構築と地球温暖化対策に寄与することを目的とする。

【役員】 会長：門川大作／京都市長

副会長：2名（青山裕史／(株)油藤商事社長 藤井絢子／NPO法人碧いびわ湖監事）

幹事：7名 監事：2名

【会員】 合計 96会員（個人会員含む）（2023年6月現在）

名誉会員、個人会員、団体・法人、NPO法人・任意団体、地方公共団体

【事務局】 一般社団法人日本有機資源協会



協議会の活動状況（主な専門委員会）

1. 企画実行委員会

- ・協議会の活性化を目指した催事等の企画と実行
- ・実態調査結果等の分析、会員要望
- ・関係省庁との連携

2. 用途拡大委員会

車両に限らず、用途の拡大に関して、実態調査や情報収集を行い、現状の把握・分析・検討を行う。

- ・発電用途や建設重機の可能性等
- ・特徴的な利用状況の調査

幹事会 ◎：会長・副会長 ○：幹事

- ◎ 門川大作 京都市長
- ◎ 青山裕史 油藤商事（株）
- ◎ 藤井絢子 NPO法人碧いびわ湖
- 佐々木洋志 労協センター事業団
- 高木則行 （株）丸三商事
- 爲廣正彦 （株）エコE R C
- 千田信良 （有）千田清掃
- 中野貴徳 浜田化学（株）
- 松尾春樹 （株）B D F
- 柚山義人 （一社）日本有機資源協会

3. 品質確認制度運用委員会

バイオディーゼル燃料の品質確認制度における運用と分析結果の評価を行う

- ・事業者からの分析結果の考察
- ・運用にかかる分析機関の選考
- ・ガイドラインの運用(2023年3月改正)